

プラスチックノッチ加工機

【株式会社東洋精機製作所 A-4】

自動プラスチック衝撃試験機

【株式会社東洋精機製作所 IT】

【設備の特徴】

プラスチックノッチ加工機

- プラスチックおよびその複合材料のノッチ加工条件を定めたJIS K 7114、ISO 2819に準拠し、シャルピー・アイゾット衝撃試験片にノッチ切削加工を行う装置です。

自動プラスチック衝撃試験機

- プラスチックおよびその複合材料の試験片に衝撃を与え、試験片の破壊に要した振り子のエネルギーから衝撃値を求める装置です。

【設備の仕様概要】

■プラスチックノッチ加工機 仕様概要

ノッチング方式	1枚刃(単刃)、ミーリング方式
可能内容	ノッチ切削 両端スライスカット
試験片クランプ能力	開き幅: 100mm (4mm × 5本相当)
送り速度	50~1200mm/min
カッター回転速度	200~900rpm
ノッチ高さ	2.5~15mm未満(最小単位: 0.01mm)
両端スライスカット長さ	80mm



プラスチックノッチ加工機

■自動プラスチック衝撃試験機 仕様概要

試験方法	シャルピー衝撃試験 (JIS K 7111、ISO 179) アイゾット衝撃試験 (JIS K 7110、ISO 180)
ハンマーひょう量	シャルピー衝撃試験: 0.5~15J アイゾット衝撃試験: 2.75~5.5J
ハンマー持上げ角度	150°C
衝撃速度	シャルピー衝撃試験: 2.9m/s (0.5~5J)、3.8m/s (7.5、15J) アイゾット衝撃試験: 3.5m/s
衝撃刃先端	シャルピー衝撃試験: R2mm、30° アイゾット衝撃試験: R0.8mm
支点間距離	シャルピー衝撃試験: 62mm アイゾット衝撃試験: 22mm
その他	ハンマーリリース装置付き 安全カバーあり シャルピー用位置決め付試験片支持台 専用データ処理ソフトウェア

【設備の技術内容】

■効果が期待される利用分野

- ・熱可塑性プラスチックの衝撃試験
- ・熱硬化性プラスチックの衝撃試験
- ・CFRPの衝撃試験
- ・プラスチック複合材料の衝撃試験



自動プラスチック衝撃試験機

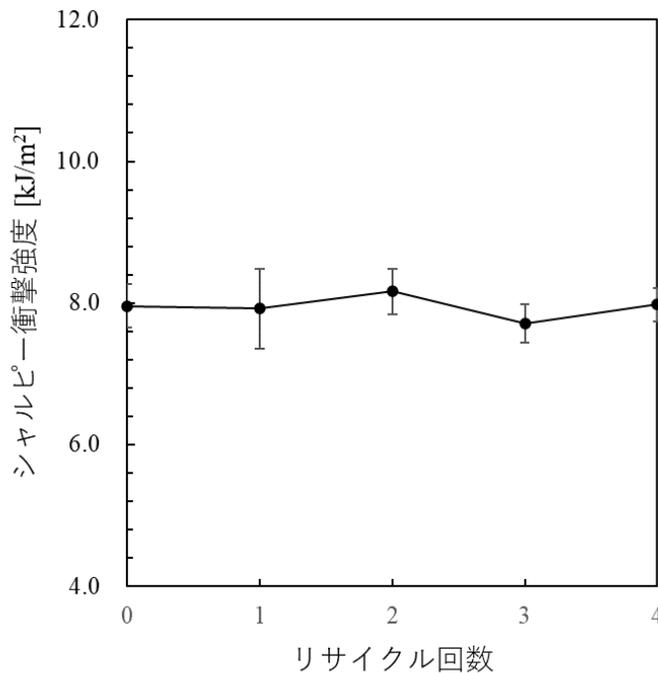
【応用事例】

■効果的な利活用の例

- ・ガラス繊維強化プラスチックのリサイクル材の衝撃特性評価

材料: ガラス繊維強化ポリブチレンテレフタレート (ガラス繊維量: 30wt%)

リサイクル条件: バージン材 70%、リサイクル材 30%



【お問い合わせ先】

秋田県産業技術センター

素形材開発部 加工技術チーム 野辺 理恵

TEL: 018-862-3414 / FAX: 018-865-3949

E-Mail: soudanshitu@aitc.pref.akita.jp

〒010-1623 秋田県秋田市新屋町字砂奴寄4-11 / <https://www.aitc.pref.akita.jp/>